

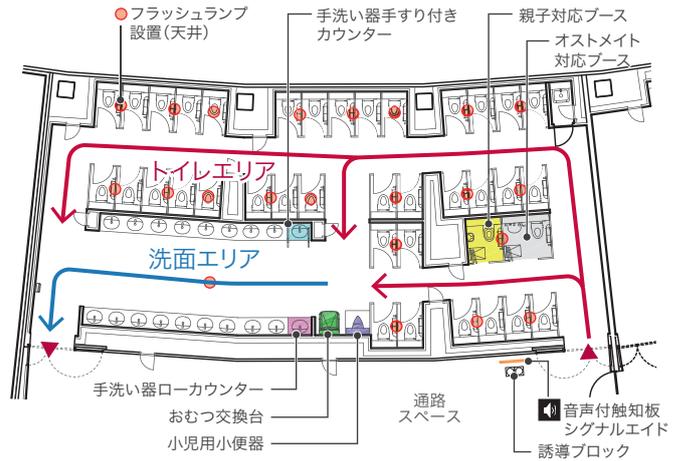
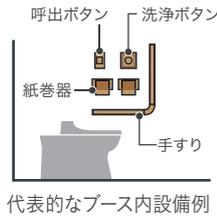
全ての人が安心して快適に観戦できるスタジアム

障害者等の関連団体(14 団体)とのワークショップにおける意見を踏まえ、障害・年齢・性別・国籍にかかわらず、様々な利用者への細やかな配慮をすることで、全ての人が安心して快適に利用できる環境を整備しています。

全ての人が快適に利用できるトイレ計画

様々な利用者への細やかな配慮

- 高齢者利用を想定し、手すり付小便器、手すり付洗面カウンターを設置するとともに、全ブース内に手すりを設けています。
- 視覚障害者利用を想定し、一般トイレ内の全てのブースに JIS S 0026 型を採用しています。
- 一般トイレ入口から見えやすい位置に親子対応ブース、オストメイト対応ブース、洗面エリア付近におむつ交換台を設置しています。
- 小児利用を想定し、全ての小便器を受け部の低い低リップ型、洗面カウンターの一部をローカウンター型としています。また、女性用トイレ内には 1 箇所小児用小便器を設置しています。
- 補助犬トイレは、内部と外部に 1 箇所ずつ配置しています。



トイレのプランイメージ(女性用トイレ)

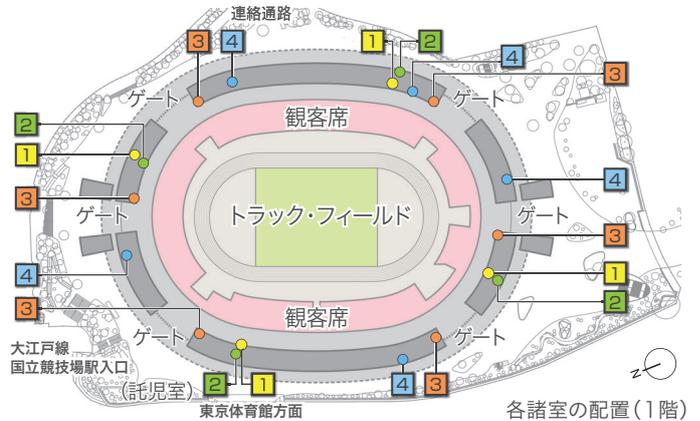
全ての人が安心して快適に利用できる諸室

乳幼児関連諸室

- 1 授乳室は各階にバランスよく配置し、出入口付近にベビーカー置き場を併設しています。また、車椅子利用者も利用できるようにしています。
- 2 託児室及びキッズルームは、災害時において円滑に避難が可能な 1 階に配置しています。
- 3 ベビーカー置き場はゲート付近の案内カウンターの近くに設置し、入場してすぐにベビーカーを預けることができます。

周囲の音などに敏感な方に配慮した休憩室

- 4 気持ちを静めるための部屋(カムダウン・クールダウン)をバランスよく配置しています。



誰にでも分かりやすいサイン計画

- 様々な障害、年齢、国籍の方々に配慮した分かりやすいサイン計画を行い、ユニバーサルデザイン(UD)環境を実現しています。

UDを必要とする利用者 サインにおける主な配慮点(例)

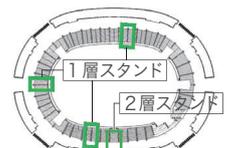
- 全盲の人…………… 触知図、音声ガイド、誘導ブロックなど視覚以外の情報を提供
- 弱視の人…………… 表示面、表示内容が大きくコントラストの強いものに
- 聴覚障害者…………… 視覚情報を提供
- 車椅子利用者…………… ゆっくり安全に見られる場所を確保
- お年寄り・子供…………… 低い視点を確保
- 外国人…………… ピクトグラムで表現(一部多言語の併記)
- 知的障害者…………… シンプルな情報表示
- その他…………… 案内所にインターホンを設置

サイン計画におけるユニバーサルデザイン(UD)

聴覚障害者への配慮

集団補聴設備の分散配置

- 聴覚障害者も様々な席から観戦できるように、スタンドの複数のエリアに集団補聴設備(ヒアリンググループ)を整備しています。



緊急対応設備

- 聴覚障害者に緊急事態をお知らせするために、主要なトイレ、休憩室、授乳室にフラッシュランプを設置しています。
- 南北サイドスタンドの大型映像装置で文字情報による安全な避難誘導を行います。

